

飯田自然エネルギー大学 学校案内

飯田自然エネルギー大学は、地域共生型再生可能エネルギー事業※、地域新電力など、地域エネルギー事業の実践者を育成して、地域のカーボンニュートラルと持続可能な地域づくりを目指します。

大学概要	主 催：一般社団法人飯田自然エネルギー大学 設 立：2016年（おひさま進歩エネルギー（株）が長野県「エネルギー自立地域を促進するための人材育成事業」を受託して開校。その後、一般社団法人が運営） 学 長：諸富徹教授（京都大学大学院経済学研究科）	
第6期実施期間	2026年5月～2027年3月（毎月1回開催）	
入学式・第1回	2026年5月30日（土）～31日（日）	
主会場	おひさま進歩エネルギー株式会社（長野県飯田市鼎下茶屋2242-2） ※対面・オンラインで開催	
カリキュラム	監 修	諸富徹教授（京都大学大学院経済学研究科／本大学学長） おひさま進歩エネルギー株式会社（長野県飯田市）
	授業回数：全11回（講義、事例研究を踏まえた事業計画作成、フィールドワークで構成） 講 師 陣：エネルギー政策研究者、金融・法律等の専門家、エネルギー事業者 合計24人 事例研究：受講生の事業構想をもとに、グループワークで事業計画を作成（3日間の集中開催） 最終授業：事業計画発表会（個人またはグループで事業計画を作成） オプション：事業現場でのフィールドワーク（太陽光発電、小水力発電、木質バイオマス）	
	課題レポート	テーマの事前学習を兼ねて、課題レポートを授業前に提出（全10回分）
	修了証	下記の要件を満たした受講生へ、卒業時に「修了証書」を発行します ① 授業の出席率が「7割以上」 ② 課題レポート未提出が「2回以下」
定 員	20人	・講師とのディスカッションを通じた深い学び、受講生同士のネットワークづくりを重視して少人数制で実施します。受講者の経歴、年齢、居住地は問いません ・定員のうち4人分は10-20代の「若者優先枠」を設けます
受講料・費用等	受講料	110,000円（受講料は入学時に全額納付）
	交通・宿泊費	各自で負担いただきます
	課題テキスト	課題レポートでテキストが指定された場合、購入は各自負担となります
	受講料の補助・割引	・長野県飯田市及び下伊那郡在住者は、飯田まちづくり電力（株）による受講料補助（1万円）を適用します ・学生（短大生・大学生・大学院生・高専生・専門学校生）は修了後、奨学金を1人につき3万円給付します
応募方法	応募用紙、レポート2点を締切日（4/19）までに大学事務局へ送付 ※詳細は募集要項へ記載	
想定する対象者	・これから再エネ事業、新電力事業に取り組もうとする人（就職・転職希望者含む） ・すでに再エネ事業、新電力事業に取り組んでいて、スキルアップや学び直しを目指す人 ・再エネ事業・新電力事業に取り組む自治体職員、地方議員、地域おこし協力隊員など	
その他	・オンライン受講は大容量データの送受信を行うため、受講生自身で通信環境を確保してください ・授業映像はアーカイブ視聴できます（視聴は受講生に限定）	
お問合せ	一般社団法人飯田自然エネルギー大学 〒395-0802 長野県飯田市鼎下茶屋2242-2（飯田商工会議所鼎支所1F） メール support@enedai.jp / 電話 0265-56-3713 事務局：伊 藤	



※地域における合意形成が図られ、環境に適正に配慮し、地域に貢献する再エネ事業を指す（環境省「地域共生型再エネと環境省の取組より抜粋」） https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/re_energy.html